

国語、算数・数学、外国語などを  
中心に授業時間数を増やし丁寧な  
指導することで学習のつまずきの  
解消に努めています。

産業経済常任委員会

＊視察日 平成23年10月31日  
11月2日

＊視察先 北海道千歳市  
北海道岩見沢市

北海道小樽市

【千歳市】「企業誘致の取り組み」  
について

国内企業に市内立地をアピール  
する「10万人セールスマン作戦」  
を展開していました。その手法と  
しては、市が用意する提案書を活  
用し、転出者を含む市民がセール  
スマンとなり、知人や縁者などに  
優れた立地条件を売り込むもので  
す。提案書には、安心・安全の視  
点で22項目にわたり優位性を盛り  
込み、アピールしていました。提  
案書の作成が今年7月ですので、  
震災後まもなくなのでフットワー  
ク、スピードを感じました。

【岩見沢市】「観光振興・ビジョン」  
について

「農と食」「自然」「歴史・文化・  
伝統」「芸術・スポーツ」の4つの  
特色を掲げており、観光資源や農  
産物などを市の「たから」として

位置づけ、  
多くの方  
が「たか  
ら」を知  
り、楽し  
み、大切  
に育てて  
いくこと



岩見沢市

で、交流人口が増大していくよう  
に計画されていました。策定委員  
の指名にあたっては、推進の中核  
メンバーとなる若い方を選出しま  
す。また、他市町村のビジョンを参  
考にしないという姿勢を堅持し、  
あくまで独自のビジョンを策定し  
た姿勢は、差別化を図るうえでも  
参考になりました。

【小樽市】「観光基本計画」につい  
て

最盛期の1960年代には人口  
は20万人をかぞえていましたが、  
現在は約13万にまで減少し平成22  
年4月に総務省から過疎指定とし  
て指定されました。現在でこそ日  
本有数の観光地ですが、30年前ま  
では小樽運河も観光資源になると  
は考えなかったようです。観光と  
して成り立った理由としては、  
「歴史性・文化性・話題性」がなけ  
ればならないという総括でした。

建設環境常任委員会

＊視察日 平成23年10月26日  
28日

＊視察先 愛知県常滑市  
愛知県豊田市  
愛知県岡崎市

【常滑市】県立「あいち臨空新エネ  
ルギー実証研究エリア」新エネル  
ギー対策について

当施設は、環境とエネルギー産  
業を次世代の成長産業と位置づけ、  
最先端の技術を活かした次の4つ  
の実証研究が行われておりました。  
①自然エネルギー分野 ②バイオ  
マス・廃棄物利用分野 ③燃料電  
池分野 ④革新的エネルギー分野。  
東日本大震災の発生により、エネ  
ルギー問題が日本全体の喫緊の課  
題となり、地球温暖化やエネルギー  
枯渇問題などの解決に向け、世界  
的な新エネルギー技術開発が企業  
参加のもと進められておりました。  
【豊田市】「環境モデル都市アク  
シオンプランの策定」について

平成21年1月、世界の先例にな  
る低炭素社会の構築を目指す「環  
境モデル都市」に指定されました。  
自動車関連の中小企業が多いこと  
から、二酸化炭素排出量が高く、  
工場で使う電気を太陽光発電に変  
えたり、環境経営の普及に積極的

に取り組  
んでおり  
ました。

家庭用燃  
料電池の  
購入に対  
して補助  
金を出す



市民に無料貸出している電気自動車(豊田市)

など、最新技術を市場に早く出す  
取り組みに力を入れていました。  
「地球温暖化問題」に対して高い目  
標を掲げ、「低炭素社会の実現」に  
向け、市民・企業・行政が連携し  
て着実に実施し成果を上げており  
ました。

【岡崎市】「狭あい道路拡幅整備事  
業」について

平成18年4月に「岡崎市狭あい  
道路の拡幅に関する条例」を制定  
し、土地の形状変更の前に、後退  
用地の形状や管理方法について事  
前協議を義務付けており、行政・  
申請者(市民)・確認検査機関の責  
任を明確にしておりました。後退  
用地を積極的に寄付しやすい事業  
制度を取り入れて、支障物件の撤  
去・移設に対し補助金を交付して  
おります。市街地など住宅密集地  
での狭あい道路の早期解消と、厳  
しい財政状況の中での路線整備に  
伴う事業効果をどう上げるかが課  
題とされておりました。